
第27回

日本水大賞

2025 日本ストックホルム青少年水大賞

受賞者へお祝いの言葉

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

群馬県立吾妻中央高等学校環境工学研究部の皆様、第27回日本水大賞「大賞」の受賞、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

この度の栄えある受賞は、地元土地改良区が抱える水路管理の課題に対し、授業で習得されたドローンによる空撮技術を活用し、10年にわたって水路図と写真地図を作成されたこと、さらに、県や大学、建設業協会、農家の皆様と連携しながら「水路管理データ」を構築し、具体的な補修や管理手法を提案されたことが高く評価されたものと存じています。

群馬県が目指す「自立分散型の地域社会」の実現に向け、その原動力の柱となるのは、自ら考え動き出せる「始動人」と産学官民が連携して地域課題の解決を図る「官民共創コミュニティ」です。

皆様の活動は、まさに本県の理念を体現するものであり、地域に根ざした実践と未来志向の創意工夫に、深い敬意と大きな期待を寄せるものです。

本受賞を契機として、こうした取組が全国に広がり、一層の御活躍を遂げられますことを心よりお祈り申し上げます。あわせて、ご指導にあたられた先生方をはじめ、本活動を支えてこれた関係者の皆様の御尽力に改めて深く敬意を表し、祝辞といたします。

令和7年7月8日
群馬県知事 山本 一太

祝 辞

「2025日本ストックホルム青少年水大賞」を受賞された「沖縄県立宮古総合実業高等学校 環境班」の皆様、誠におめでとうございます。

この度の受賞は、飲料水を地下水に依存する宮古島において、基幹産業のサトウキビ栽培にて散布される土壌浸透性農薬が水道水や地下水に含まれることを明らかにするとともに、リン溶解菌を添加したバガス炭（サトウキビの搾りかすから生成される廃棄物）が土壌浸透性農薬の吸着・分解機能を有する可能性を見出したこと、また、これらの知見が広く世界で懸念されている化学農薬や肥料による水環境の汚染を抑制・低減するのみならず、新規の農業技術の導出・発展につながる点などが高く評価されたものであると伺っております。

沖縄県では、SDGsを柱とした「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」を策定し、取組のひとつとして自然環境の保全や持続可能な農林水産業の振興を目指し、様々な施策を展開しているところであります。

皆様の研究は、このような課題解決に資するテーマであり、今回の受賞は大変意義のあることと考えております。

今回の受賞を機に、今後皆様の研究がますます深まることを祈念し、お祝いの言葉といたします。

令和7年7月8日
沖縄県知事 玉城 デニー